ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360

# えとす

平成23年 No.240 12月号

京都の智恵を日本に活かす。

二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

# 山岡、一川両大臣の問責決議案が可決
# 厳しく問われる野田首相の任命責任

## 辞任しないと開き直る両大臣

第179回国会は12月9日、51日間の会期を終えた。今国会は、国家的な危機ということもあり、自民党は出来る限り知恵を出し、政府与党に協力をしてきた。その結果、ようやく補正予算の成立、復興庁の創設が実現した。9月に誕生した野田内閣は、鳩山、菅内閣よりも少しはましな内閣ではないかと期待されたが、内閣には国を担う能力も責任感もないことが明らかになった。しかもこの間、一川防衛大臣、山岡国家公安委員長の国務大臣としての適格性に欠ける事案が次々と明らかになった。自民党は、「自民党・無所属の会・公明党の共同提案」で、2大臣に対する問責決議案を参議院に提出した。野党も今の野田内閣では駄目だという認識で一致、決議案は賛成多数で可決された。しかし、2人の大臣は辞任を拒否、野田首相も更迭しない方針である。来年は、通常国会冒頭から波乱が予想され、解散・総選挙の可能性が高くなってきた。

参議院本会議で問責決議案の提案説明をする二ノ湯議員

## 恒心

★今年は日本人にとって、半永久的に忘れられない年になる。3月11日の東日本大震災で、死者、行方不明者合わせて約2万人の方々が犠牲となった。あれから9カ月以上の月日が経つ。春の桜、暑い夏、紅葉の秋も過ぎて、再び寒い冬を迎える。そしてまもなく新しい年を迎える。★発災以来、国の方も復旧、復興に全力で取り組むため、第1次から3次の補正予算を組んだが、政権の担当能力のなさと、地方自治体の技術者の不足で執行出来ず、補正予算の多くが復興事業に使われていないのが実情である。地元からは不平不満の声が挙がっている。★震災直後、日本全国から多くの寄付金が寄せられた。外国からも台湾政府の200億円を筆頭に多額の義援金が集まった。支給方法が遅いという批判があったが、充分ではないが被災者の手に渡っている。★震災直後は、全てを失ったが、命だけでも助かって良かった。各方面からの援助は有難い、感謝の気持ちで一杯だと生きている喜びを実感していた。だが人間とは弱い者で、時が経つにつれて、それが当たり前になって、有難味、感謝の気持ちも薄らいでくる。★今、被災地では援助慣れして、勤労意欲がなくなり、朝からパチンコ店が賑い、飲み屋も繁盛しているらしい。そんな現象が起きているとすれば、人の善意を無にすることであり、嘆かわしい。政府は各自治体と連携し、一日も早く、復興事業を進めなければならない。復興建設の槌音が聞こえてくれば、雇用も増え、自らの力で生き抜こうとする意欲も湧いてくるだろう。

## 二ノ湯、島尻議員が問責決議の提案説明
## 辞任必要なしとかばう民主党

臨時国会の最終日にあたる12月９日、自民党・無所属の会、公明党の共同提案による山岡国家公安委員長、一川防衛大臣の問責決議案が全野党の賛成で可決された。（但し、山岡大臣には社民党は欠席）山岡国務大臣に対する問責決議案の提案理由は二ノ湯議員、一川大臣には島尻安伊子議員（沖縄県選出）が行った。山岡氏はこんな人がなぜ国家公安委員長、消費者担当大臣でいるのか、もっともふさわしくない人が大臣に座っているという批判が多い。一川氏は防衛大臣としての資質、能力が問われた。問責決議案は法的拘束力はないといわれるが、政治的な意味は大きい。民主党は「山岡大臣はマルチまがい商法、悪徳マルチ商法にはかかわっておらず、国家公安委員長としても真摯に職務に専念され、適材適所の任命である」と山岡氏の立場をかばった。一方、一川氏については、「経験の豊かさと、高い見識を持ち、冷静で、さらに国民目線で社会を見渡せることができる。防衛大臣がころころ変わるようでは安全保障上非常に不利で、沖縄の皆さんの信頼回復をすべく、全力で職務に当たっていただきたい」と弁護した。だが、民主党の主張には全く説得力がなかった。各紙の世論調査でも、２人の大臣は辞任すべきだという声が、70％以上になっている。任命責任者である野田首相の責任は極めて重く、いつまでも２人は「適材適所」だと言ってばかりいられない。

# 自民党文部科学部会

## 民主党政権の教育重要分野への不誠実な対応に厳しく抗議する決議案を採択

民主党政権が誕生して以来、日教組の強い影響を受けて、改正教育基本法や教育振興基本計画に基づく教育再生が危うくなるのではないかと、自民党は警鐘を鳴らしてきた。ここに来て、自民党が憂いていたことが、現実に起こっている。12月９日、自民党文部科学部会では、１、「私学災害復旧助成法案」、２、「朝鮮学校無償化」、３、「沖縄県八重山地区における公民教科書採択」に関して、民主党の不誠実な対応に厳しく抗議する決議案を採択した。決議案の要旨は次の通りである。

**１、「私学災害復旧助成法案」**

東日本被災地からの切実な要望を受けて、校舎の再建について、公立学校と同様の補助を行うことにより、私立学校が安心して復旧に臨めるようにするための法律。本法案は参議院先議で、全ての野党の賛成により可決された。民主党は国対委員長名で、「自民党からの要望を尊重し、努力します」との確認書を提出したが、財務省の強い反対で法案が成立しなかった。

**２、「朝鮮学校無償化」**

朝鮮学校について、一番の問題は、朝鮮総連の不当な支配と、反日的な思想教育であり、各自治体において、朝鮮学校に対する補助金の見直しや留保が行われている。国民にも反対意見が多く、あえて朝鮮学校を高校無償化の対象にすることは、わが国にとって取り返しのつかない過ちとなる。政府・民主党は、直ちに朝鮮学校の無償化手続きを停止すべきである。

**３、「沖縄県八重山地区における公民教科書採択」**

「沖縄県八重山採択地区協議会」において、来年度より使用される中学校の公民の教科書について、育鵬社が選定された。石垣市と与那国町は選定結果通りに育鵬社を採択したが、竹富町が別の教科書を採択し、法律違反の状態となったことから、今日まで混乱が続いた。文部科学省は教科書採択制度を守るために、法に従って竹富町教育委員会が教科書を採択するよう指導力を発揮すべきである。

以上の重要課題について、わが党は国会での委員会審議を再三にわたり求めたが、民主党は、直近の２回の臨時国会において、１度も一般質疑を行うことなく国会を閉会させた。実に不誠実で、無責任な対応である。


新春招福バスツアー　第25回　伊勢神宮初詣

◇旅行日　平成24年1月9日（月・祝）

◇会　　費　8,000円

◇昼食場所　鳥羽『戸田家』

◇申込先　後援会役員または二ノ湯さとし京都事務所まで　TEL(075)315-2228　FAX(075)315-2310

参議院議員　二ノ湯さとし後援会

# 門川市長再選出馬を表明
## 候補者、前回と同じ顔ぶれ
### ――心配な関心の低さ――

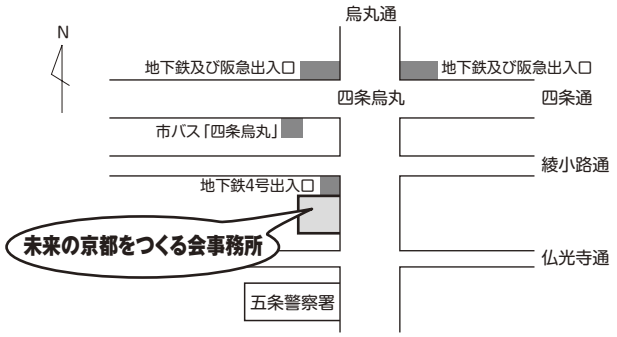
秋ごろから再選への意欲を示していた門川大作京都市長は10日、記者会見を行い、来年1月22日告示、2月5日投票の京都市長選挙に正式に立候補することを表明した。従来は市会本会議場で、与党第一党の議員の質問に答える形での出馬表明が慣例となっていた。ただ地方議会は有権者の直接投票で選ばれる議会、首長の2元代表制である。与党の議員が市長に出馬を催促すれば、最後まで責任を持たなければならない。それでは市長と議会の緊張関係がなくなり、議会の監視機能、審議機能が弱くなってしまう。今回の選挙から出馬の表明方法を改革してはどうかという意見が強く出ていた。その意味では、今回の門川市長の出馬表明は新しいスタイルとして大いに評価が出来る。前回の市長選挙は門川、中村、そして村山の3氏の戦いで、市民の関心も高かった。しかし今回、注目されていた大阪維新の会は京都市長選には関与せずとの方針を決めた。おそらく、与党3派と共産の2極選挙となり、市民の関心も今一つ、投票率が非常に低くなるのではないかと心配される。前回、薄氷を踏む思いの選挙結果であっただけに、門川陣営としては寄り合い所帯の脆さを引き締め、各党の結束を固めることに全力を傾注する必要がある。

## 自民党本部、門川氏を推薦

自民党京都市会議員団はかねてより、与党3派間で門川市長の再選に向けて話しあいを続けていた。自民党京都府連では市議団の意向を受けて11月21日、選挙対策委員会を開き、門川市長を自民党推薦候補とするように、党本部に要請することを決めた。自民党本部では、13日持ち回りの選挙対策常任委員会(河村建夫委員長)で門川市長の推薦を決めた。

20日に、二ノ湯府連会長が門川市長に代わって、谷垣総裁より推薦状を受け取った。

〈「未来の京都をつくる会」事務所所在地〉

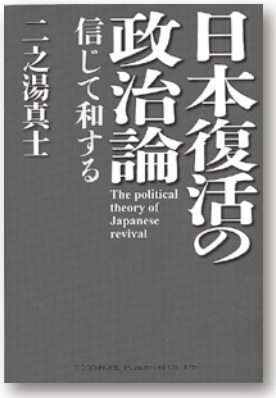



※四条烏丸交差点を南へ徒歩約3分西側
※交通機関を御利用の場合、市営地下鉄烏丸線「四条」駅
阪急電鉄京都線「烏丸」駅下車
市バス「四条烏丸」バス停下車

# 「未来の京都をつくる会」事務所完成

門川市長を支援する確認団体である「未来の京都をつくる会」の活動拠点である事務所が完成した。新しい事務所は四条烏丸下るで、烏丸京都ホテルの北側。交通の便は良く、しかも大きいビルで、事務所スペースもゆったりしている。駐車場も完備で選挙事務所としては最高の場所、設備である。

〒600-8412 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町647
電話 075-352-9500　FAX 075-352-9505


ご好評いただき、
ありがとうございます。
なお、購入を希望されます方は、
是非ご連絡ください。

定価 1,400円
(総合法令出版)

京都府議会議員
二ノ湯しんじ事務所
お問合せ先
〒616-8167
京都市右京区太秦多藪町44-1
TEL 075-862-1355
FAX 075-862-1350


## 「未来の京都をつくる会」事務所開き

期日：**平成24年1月7日(土)**　午後1時30分
場所：**「未来の京都をつくる会」**

## 「未来の京都をつくる会」総決起大会

期日：**平成24年1月15日(日)**　午後3時
場所：**京都会館第一ホール**
(京都市左京区岡崎)

## 1月22日、第79回自民党大会 京都から6人が総裁表彰

第79回党大会が、平成24年1月22日に開催される。大会において、各分野で党に対して貢献した個人、団体に、総裁より表彰状が授与される。京都府関係の表彰の種別は次の通りである。

一、優秀党員、二、優秀党組織、三、友好団体、四、党への協力者

### 第79回党大会　総裁表彰者（団体）の選考

**1、優秀党員（党員功労者）　8名**

| 枠 | 対象者 | 所属支部 |
|---|---|---|
| 第一選挙区 支部 | 田中セツ子（たなか せつこ）<br>党歴22年　南区吉祥院 | 南支部 |
| 第二選挙区 支部 | 巻野　渡（まきの わたる）<br>党歴34年　左京区浄土寺 | 左京支部 |
| 第三選挙区 支部 | 中島　隆二（なかじま りゅうじ）<br>党歴34年　伏見区東浜南町 | 伏見支部 |
| 第四選挙区 支部 | 齋藤　兼治（さいとう けんじ）<br>党歴31年　西京区大原野 | 西京支部 |
| 第五選挙区 支部 | 鹿子木旦夫（かなこぎ ときお）<br>党歴25年　綾部市田野町 | 綾部支部 |
| 第六選挙区 支部 | 樋口　朝子（ひぐち あさこ）<br>党歴30年　城陽市寺田 | 城陽支部 |
| 参議院選挙区 第三支部 | 高橋　正博（たかはし まさひろ）<br>党歴22年　南区久世 | 南支部 |
| 参議院選挙区 第四支部 | 家元　丈夫（いえもと たけお）<br>党歴21年　福知山市天田 | 福知山支部 |

**2、優秀党組織　1支部**

| 支部名 | 代表者 |
|---|---|
| 宮津支部 | 支部長 多賀久雄 |

**3、友好団体　1組織**

| 団体名 | 代表者 | 所在地 |
|---|---|---|
| 京都府林業政治連盟 | 委員長 梅原久弘 | 中京区 |

**4、協力者　1名**

| 協力者氏名 |
|---|
| 富田泰溥（とみた やすひろ） |

## 二ノ湯事務所の新しい体制

二ノ湯参議院議員の当選直後から7年半の間、東京の参議院会館で、多くの人から好感を持たれ、頑張って働いていた秘書の山田真菜さんが、この度結婚することになり、12月末で退職することになった。その後任に佐藤愛さん（山口県宇部出身）が事務所で働くことになった。また、京都事務所では6人から3人になったが、このほど前木津川市議の梶田和義氏がボランティア秘書として、主に南部方面を担当してくれることになった。最近大学時代の友人に会うと、「体を持て余している人が多い。報酬など期待せずに何か社会に貢献したい人が一杯いる。そんな人に二ノ湯君、秘書として手伝って貰えよ」とアドバイスを受けた。古い付き合いの梶田氏はきっと期待に応えてくれるだろう。

## 身辺雑記

一、大阪市長選挙、知事選挙は「大阪維新の会」の推薦候補が圧倒的な勝利を収めた。都構想の実現、二重行政の解消などの公約が有権者にどこまで理解されたかわからないが、動かない国政に対する漠然とした不満の表れかも知れない。

一、アテネ、北京オリンピックで金メダルを連続で獲得した柔道の内柴選手が教え子に強姦したとの容疑で逮捕された。熊本県の名誉県民の称号もはく奪された。大学の教授の地位も失った。天国から地獄へ一瞬のうちに墜ちてしまった。

一、年末になると多くの喪中の葉書をいただく。葉書を見て大変親しい人、お世話になった人が亡くなったことを初めて知る。最近は身内だけの家族葬、親族葬が多いので仕方がないが、お参りもせず、申し訳ない気持ちになる。

一、知人から食事に誘われて久しぶりに夫婦で祇園に出かけた。余りにも閑散とした祇園町の様子に吃驚した。かっての祇園は12月ともなれば、人、人、人でごった返していた。不景気のせいなのか世の中が変わったのか。

一、府議の息子が本を出版した。3000部が損益分岐点とのこと。先日京都駅八条口アバンティの本屋を覗いたら、息子の本が並べてあったので、親馬鹿で一冊求めた。書店で取り扱ってもらえることだけでも有難いことである。


**「えとす」購読のお願い**

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1,200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

**「新政経懇話会」入会のお願い**

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

**「日本真生塾」 第16回例会のお知らせ**

平成24年1月30日(月)　18時～21時

場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
（京都駅八条口前アバンティ9F）

★今後のテーマは「戦後の日本」について進めてまいります。

＜お問い合わせは事務局へ＞（担当：近藤）
TEL：050-7544-4018
メール：nihonsinseijuku@yahoo.co.jp

内容・年会費など詳しくはホームページをご覧ください。日本真生塾 で検索。

日本真生塾　塾長　岡本幸治